

新生Jヴィレッジ復興・再整備計画の概要

2015.1.29
福島県エネルギー課

【目標を達成するための5つのチャレンジ】

1 新たな付加価値の創造

(1) サッカーグラウンド

- ① 全天候型サッカー練習場の新設
- ② 最適な天然芝の導入
- ③ 簡易型観客席やチームベンチの導入
- ④ 照明設備の改良と機材等管理倉庫の整備

(2) スタジアム

- ① 得点掲示板や照明設備の改修
- ② 駐車場の拡充
- ③ 新たなプロサッカーチームの誘致

(3) 宿泊機能

- ① 宿泊施設等の増築
- ② 客室内備品・設備の整備
- ③ ビジネスユーザーの誘致
- ④ 接客サービスの向上

(4) レストラン機能

- ① 収容能力の拡大
- ② 魅力の向上
- ③ 効率的で利便性の高い厨房施設に改善

(5) 新たなスポーツ競技による活用

- ① ラグビー競技等の誘致
- ② 総合スポーツ施設として整備

(6) その他の周辺施設

- ① 復興のアーカイブ展示
- ② 再生可能エネルギーの導入
- ③ 井戸新設によるコストの削減
- ④ 施設内店舗の改善
- ⑤ 旧岩沢川橋梁の架け替え



【新生Jヴィレッジの目標】

- I 本県復興のシンボルとして、2020年東京オリンピック・パラリンピックの前年である2019年4月にまでに、世界に誇るナショナルトレーニングセンターとしての再生を目指す。**
また、準備期間として、2018年夏までに一部営業の再開を目指す。
- II 常に利用者が満足する国内最高クラスの施設とサービスを提供し、持続可能な経営の実現を目指す。**
- III 2020年には、年間施設利用者数を震災前の水準以上に戻すことを目指す。**

4 地域との連携強化

- (1) イベント等を通じた地域活性化への貢献
- (2) 地域の観光業や農林水産業との連携強化
- (3) 立地町民の利用しやすい環境の整備
- (4) 子ども向け体験型交流施設等の整備

【新生Jヴィレッジの使命】

- (1) 本県復興の姿を国内外に発信
- (2) 双葉地域の復興・再生を牽引
- (3) サッカー・スポーツ振興に貢献
- (4) 未来を担うトップアスリート育成
- (5) 地域コミュニティの中核と健康づくりに貢献

2 NTC機能の強化

- (1) トレーニングの質を高める機器の導入
- (2) カンファレンスルームの充実
- (3) スポーツメディカル・リハビリ機能の整備

3 トップアスリートの育成

- (1) JFAアカデミー福島への支援強化
- (2) 「ふたば未来学園高校」と連携した人材育成
- (3) 指導者等の研修拠点化

5 東京五輪前に再開

東京オリンピック・パラリンピック前年の2019年4月までに全面再開を目指す。また、準備期間も含め2018年夏までの一部再開を目指す。

新生Jヴィレッジ復興・再整備スケジュール

